

平成28年12月26日

要 望 書

岡山市長 大森 雅夫 殿

幡多学区連合町内会
会 長 長 汐 良 熊

中区の防災対策整備と公共施設集合について

1. 趣旨

幡多学区を含む竜操地区は、岡山市の郊外住宅地域として発展しており、岡山市の人口増加にも寄与してきた。また、コミュニティ活動も盛んな地域である。しかしながら、それらを支えるべき諸施設は、小規模で分散型、そして老朽化など十分とはいえない状況である。これらを一カ所に集約することは、住民の利便性をより高めるだけでなく、地震など災害発生時にも避難場所の確保につながる。安全安心のまちづくりを促進するのみならず、コミュニティ活動のモデル地区としても岡山市のシンボリック地区となることが期待される。

2. 具体的内容

中区藤原24番地および高屋24番地の陸運支局跡地について、竜操地区住民の生活環境を向上するために、東公民館、東部地区図書館、幡多学区コミュニティハウス、東岡山市民サービスコーナー、竜操防災センター、公園(避難場所)など住民が活用できる複合施設の建設を要望します。

3. 施設建設の理由

- ① 東公民館 = 近年講座の数が増加し、町内会等の打合せで使用したくても部屋が確保できないことが度々ある。
建物が老朽化し、雨漏り、壁の剥げ落ちなど危険な状態になっている。公民館前の県道の交通量がとても多く、車が出入りできないことが日常であり、危険である。また駐車スペースも少なく、駐車できないことがある。
- ② 東部地区図書館 = 中区には図書館が無いことと、高齢者や子供が増えていることから、学びと発展の拠点として「知識」の宝庫である図書館を併設し、市民交流の情報収集・教育の場として充実させたい。
- ③ コミュニティハウス = 幡多学区にはコミュニティハウスが無いので、住民が簡単に集うことができない。特に子供達が元気に活動でき、老人たちが話し合える場所を確保してもらいたい。
- ④ 東岡山市民サービスコーナー = 当事務所は、幡多農協に同居しており、施設は大変狭く、また駐車場も無いに等しく、さらに出入り道路が狭いので車での訪問が困難である。
- ⑤ 竜操防災センター = 防災教育の拠点として、区民に防災の意識を高揚する重大な目的と、災害時の避難場所、さらに衣料・食料の備蓄施設を併設してもらいたい。
- ⑥ 公園(避難場所) = 当地区近くには、公園がないため子供たちが安全に遊べるスペースの確保と、災害時の避難場所を確保したい